

HT25237 たてものがかり ～一坪の茶室をつくる～



開催日：平成25年7月28日(日)

実施機関：九州産業大学
(実施場所) (工学部造形演習室)

実施代表者：諫見泰彦
(所属・職名) (工学部・准教授)

受講生：高校生20名

関連URL：<http://isami.flips.jp/>

【実施内容】

留意、工夫した点

- ①講義では、千利休、豊田秀吉ら、高校生も知る日本史上の人物やできごとを交え茶室を説明した。
- ②作業では、建築施工の経験がない高校生の技術的能力でも作業可能な面接合工法を採用した。
- ③まとめでは、畳やにじり口(茶室の入口)などを通して体験的に人体と建築の寸法関係を解説した。

当日のスケジュール

- 9:50以前 実施協力者および準備協力者が模型(教材)の製作と主要構造部の架構を行った。
- 9:50 第1回プログラムの受付を開始した。
- 10:00 第1回プログラムの受付を終了し、プログラムを開始した。
実施代表者が架構された主要構造部を示して講義した。
- 10:25 講義を終了し、工具の使い方、作業上の注意を行った。
- 10:30 実施協力者と作業協力者の援助により高校生が作業を行った。
第1回プログラムでは「インテリア(内装)」を課題として作業を行った。
- 11:40 実施協力者がまとめの講義を行い、実施代表者が高校生に未来博士号の授与を行った。
- 12:00 実施代表者が科研費の説明を行い、第1回プログラムを終了した。
- 12:10 高校生がアンケートを執筆し、用紙回収後解散した。
- 12:50 第2回プログラムの受付を開始した。
- 13:00 第2回プログラムの受付を終了し、プログラムを開始した。
実施協力者が架構された主要構造部を示して講義した。
- 13:25 講義を終了し、工具の使い方、作業上の注意を行った。
- 13:30 実施協力者と作業協力者の援助により高校生が作業を行った。
第2回プログラムでは「エクステリア(外装)」を課題として作業を行った。
- 14:40 実施協力者がまとめの講義を行い、実施代表者が高校生に未来博士号の授与を行った。
- 15:00 実施代表者が科研費の説明を行い、第2回プログラムを終了した。
- 15:10 高校生がアンケートを執筆し、用紙回収後解散した。

実施の様子



模型(教材)の製作



主要構造部の架構



加工した主要構造部



部材加工作業(高校生)



インテリア(床組施工)



エクステリア(外壁施工)



まとめの講義(実施協力者)



まとめの講義(実施協力者)



完成した一坪の茶室

事務局との協力体制

事務手続きについては、本学学術研究推進機構産学連携支援室において行った。

広報活動

- ①本学総合企画部を通して本学のホームページに掲載した。
http://www.kyusan-u.ac.jp/event_view.php?nid=51a7179985caa
- ②本学入試部を通して福岡県内の高校に案内した。
- ③本学近隣の高校に出向き案内した。

安全配慮

- ①実施場所の安全を確認した(実施場所を室内とした)。
- ②実験・実習時の道具使用の説明と注意喚起を行った。
- ③実施場所周辺の医療機関の休日情報を把握した。
- ④対象者の傷害保険への加入を行った。

今後の発展性、課題

- ①建築の知識・技術がない高校生を、建築づくりに参画させることの教育的意義は十分に認められた。
- ②①を実現する技術的方法については、アクシデントやタイムロスのリスクもあり、工夫を必要とする。
- ③「面接合工法」は②を解決する手段として手応えを感じており、今後の同趣旨の活動に活かしたい。

【実施分担者】 なし

【実施協力者】 1名 他に事前の準備および作業協力者22名

【事務担当者】 新保進介(学術研究推進機構産学連携支援室・主任)＝実施時